

国産野菜の業務対応促進

第4回 倉敷青果荷受グループに大臣賞 優良表彰

農水省および農畜産業振興機構主催による第4回「国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰」の受賞者が決定した。これは、加工・業務用需要に対応した国産野菜の生産・利用拡大に取り組む、優良なグループ（生産者、流通関係者、実需者）を表彰するもの。農水大臣賞には倉敷青果荷受組合（富山県尚作理事、岡山県倉敷市）などが構成される「国産玉葱生産・利用拡大グループ」が輝いた。倉敷青果荷受組合は第2回に続き、2回目の農水大臣賞受賞となる。

「国産玉葱生産・利用拡大グループ」の構成メンバーは、生産者はJA倉敷かさや等岡農業センター（岡山県）、真備根菜類生産者組合（岡山県）、因島玉葱生産者組合（広島県）、いいだ農園（長崎県）。流通業者は倉敷青果荷受組合蔬菜部、実

給を可能とし、年間使用量360トをすべて国産に切り替えた。また、GAPおよびISO22000認証による一貫した品質管理とトレーサビリティを導入している。

さらに、機械皮むきが可能なMサイズ以上を一括して一規格とし、産地の選別労力を軽減。通い容器やフレコンバッグに対応した施設の整備により、流通コストを削減したことも評価された。

そのほかの受賞者は次のとおり。「内は受賞ポイント、①生産者②流通業者③実需者（①と③だけのグループもあり）。

【生産局長賞】

▽JA東神楽加工・業務用野菜サプライチェーングループⅡ「消費者ニーズや需要量に基づく計画的な安定供給の取組（アスパラガス、カボチャの冷凍加工）」

①東神楽蔬菜研究会（北海道）②東神楽農業協同組合（北海道）③イスツクス株式会社（東京都）

▽静か組合三味餃子キャベツグループⅡ「トレーサビリティとゴールドチェーンに対応したコンテナ出荷体制の確立」①油屋（茨城県）②農業生産法人サンボーフアーム（千葉県）③三味ヤオコーデリカセンター（埼玉県）

▽JA全農いばらき・カゴメⅡ「生産者と実需者が連携し、加工用トマトの新規産地を開拓」①JA全農いばらき②カゴメ調達部原料グループ（栃木県）

▽ふじ有機にんじん・こぼろグループⅡ「周辺農家とのネットワーク形成により、実需者の要望に応じて供給を拡大」①農業生産法人ふじ有機（鹿児島県）③米川商事（茨城県）

▽JAおきなわ・エスビー食品フレッシュハーブ契約栽培グループⅡ「実需者からの働きかけによる、契約栽培への転換」①JAおきなわ③エスビー食品（東京都）

▽株式会社モンテローザ・ヤマダイ食品株式会社・茨城中央園芸農業協同組合グループⅡ「低コスト化による、輸入野菜から国産への切替え」①茨城中央園芸

【農畜産業振興機構理事長賞】

▽アグリ園ミヤウチグループⅡ「地元の実需者と実需者が連携し、低コスト・省力化の取組を推進」①アグリ園ミヤウチグループ（宮城県）③グリーンライフ（宮城県）

▽国産青果物供給拡大推進協議会Ⅱ「複数産地、複数品目の産地リレーによる安定供給体制を構築」①農業生産法人アクト農場（茨城県）、イーエム・ジャパン（神奈川県）、農事組合法人耕人会（群馬県）、いばらき農流研（茨城県）、北庄フェーバー（福島県）、和郷（千葉県）、農事組合法人やまだアグリサービス（秋田県）③東京デリカフーズ（東京都）

▽株式会社モンテローザ・ヤマダイ食品株式会社・茨城中央園芸農業協同組合グループⅡ「低コスト化による、輸入野菜から国産への切替え」①茨城中央園芸

農業協同組合（茨城県）②ヤマダイ食品（東京都）③モンテローザ（東京都）

▽JAやつしろレタス部会・マルマサフード業務用レタス出荷グループⅡ「他品目からの転換による、加工・業務用レタス生産の拡大」①JAやつしろレタス部会（熊本県）③マルマサフード（大阪府）

▽東四国契約野菜安定取引協議会Ⅱ「生産者・流通関係者・実需者が連携し、低コスト供給体制を確立」①板野郡農業協同組合加工用キャベツ部会（徳島県）②観音寺地方卸売市場（香川県）③細川食品（香川県）

▽九州加工用国産野菜推進グループⅡ「生産者・実需者が連携し、ニーズに即した原料生産、新製品を開発」①坂口農産生産者Bグループ（宮城県）③九州新進（鹿児島県）